

木協通信

第90号
発行年月日
令和6年11月1日
日田市大字東有田
字新山2776-6
日田木材協同組合
TEL24-2167



★日田木材協同組合百年を語る

当時役員は頭取一名。委員一〇名となっている。頭取は日郡木竹商共算組合頭取横尾順一氏が兼ねていたようで、委員は相良滝六、千原善太、宇野直蔵、稲尾長七、宮崎太一、石井岩吉、栗秋甚兵衛、桜木卯三郎、原新十郎の各氏であった。

明治三十年四月には新たに森林法が制定され、政府は植林事業を奨励するとともに保安林を強化した。この当時日田地方における用材伐採量は杉材が急速に増加し、広葉樹材と杉材の割合は明治二十二年の九〇対五が僅か八年後には、五〇対三八になった。

金融機関では改進黨系の日田銀行との取引がいやで新たに日田実業銀行（資本金二〇万円）が、政友会系の人たちによって限町に設立されたのも同年十月であり、翌明治三十一年にはさらに、日田貯蓄銀行（資本金三万円）が豆田に設立されたが、当時の激しい政争が金融機関にも持ち込まれた形で、政党内において金融機関の争奪戦が演じられたといわれる。

しかし、これら金融機関の設立は日田町の産業を発展させるとともに、近代産業の勃興を促し、明治三十二年日田煙草株式会社、そして翌三十三年には日田水電株式会社設立されるに至った。これが現在の石井発電所（柳又発電所）である。

（次号へ続く）

★特定技能外国人の雇用説明会

去る9月11日に、当組合及び駐インドネシア大使館と人材派遣会社のA1-stationと共催で説明会を開催しました。

製材工場でも従業員が不足していますし、林業関係では、植栽や下刈り等の従業員が不足している現状にあります。

政府は今後5年間で林業部門に1,000名、木材産業部門に5,000名の外国人



人を受け入れることを決定しています。インドネシア政府は今後日本で働く人を5年間で25万人送り出す目標を明らかにしました。外国と日本の習慣の違い等の説明や、組合員がA1-stationを通じて雇用する場合は経費を優遇する等の話が出来ましたので、雇用する場合は当組合にご相談ください。

★第9回木造建築推進セミナー



今年度の第2講目となるセミナーに服部副市長を講師としてお招きし、「森林・林業の役割と木材利用の進展」、「森林と木材利用を例にしたSDGsの取り組み方」と題した講義を受講しました。

森林の役割や木材の色々な使われ方、また、SDGsの奥深さを学ぶことが出来ました。服部副市長は色々な部署を経験され、知識の情報も豊富です。林野庁におられる時も、日田材を広くPRして頂きました。副市長になられてからは更に、日田の基幹産業であります、林業・木材産業のため全力で働いて頂いています。日田に無くてはならない副市長ですので、健康に留意して活躍されることを祈念しています。

次回、第4講（最終回）を11月13日、東京都市大学名誉教授 大橋好光氏をお迎えして「近代の木造建築、製材品の需要拡大の為に」等お話いただきます。ご参加希望の方は、事務局迄ご連絡ください。

★大山祇神社大祭

毎年、放生会の期間に行われる大山祇神社大祭を9月23日に開催しました。大山祇神社は、昭和31年に日田木材協同組合が林業の守護神として大原八幡宮に奉建しています。

当日は休日にも関わらず、日田市長を始め林業団体代表者、歴代理事長等お参りくださいました。



★秋の優良市

10月24日、大分県木材青年連合会の協賛市として秋の優良市を開催致しました。

今回の市況は、天候不良の長期化と半期に一度の優良市ということもあり、杉・桧ともに概ね全面高で取引されました。

前回から杉4M24cm上材が比較的安定傾向なため造材は迷わず4M採材継続でお願いいたします。

桧材は品薄感があり、市の度に値を上げる展開となっています。上げ幅も大きく、直と曲り材の値差も均衡しており直ぐには値崩れの状態ではありません。杉3M40cm以上は◎です。

取扱い材積…一、〇二二・四九四m
取扱い金額…一三、〇五三、九七八円
平均単価…二二、八九二円



★お知らせ

○令和六年度 木づかい促進事業

今年の木づかい促進事業も残りわずかとなりました。新築・改築をお考えの方はお早めにご相談ください。

新築は木材の樹種別使用量により補助が加算されますので、木材明細書の作成にあたり、樹種別に材積の計を記載していただければ幸いです。

10月31日迄の受付状況は、

- 新築 51棟（予定75棟）
- リフォーム 154棟（予定160棟）
- 災害立て替え 0棟（予定101棟）
- 災害修繕 0棟（予定30棟）